

第 26 回鋼構造基礎講座

鋼橋の維持管理

—— 迫りくる大修繕時代に備えて ——

平成 26 年 1 月

**土木学会 鋼構造委員会
鋼構造継続教育推進小委員会**

まえがき

近年、土木学会内では技術者の継続教育の必要性が強く認識され、具体的な継続教育プログラムが策定・実行され、成果をあげつつあります。最新・最先端技術に関しては鋼構造委員会の小委員会で調査研究が行われ、委員会活動中の中間報告あるいは終了後の活動報告としてシンポジウム等で紹介・報告されCPDポイントとして継続教育に活かされております。しかし、これらの小委員会活動は比較的専門性が高く、シンポジウムの内容も開発研究的な要素が多いことから、中級・上級技術者を対象とした継続教育プログラムと位置付けられます。一方、初級・中級技術者や上級技術者でも専門分野外の基礎技術を習得するための継続教育を目的とした講習会は残念ながら意外に少ないのが現状です。

このような背景から、鋼構造委員会では鋼構造継続教育推進小委員会を設置し、若手技術者および、今まで当該のトピックを専門としていない技術者を対象に基礎的な講習会を実施してまいりました。

そして今回、鋼橋の維持管理に関する基礎的な理解を深めていただくことを目的として、第26回鋼構造基礎講座「鋼橋の維持管理―迫りくる大修繕時代に備えて―」を企画いたしました。

本基礎講座では、鋼橋の損傷機構、維持管理における点検・調査～診断～補修補強に関する最新技術のほか、管理者側による健全度の評価や今後の展望についても紹介いたします。講師はいずれもこの分野に精通されておられる専門家の皆様です。

本講座が、若手技術者の方々や、鋼構造物の設計・製作・施工に携わられるの方々にとって有意義なものとなることを切望しております。

平成26年1月

鋼構造継続教育推進小委員会

委員長 勝地 弘

目 次

1. 鋼橋の損傷事例とメカニズム

依田 照彦（早稲田大学）

2. 鋼橋の健全度評価

船越 博行（オリエンタルコンサルタンツ）

3. 鋼橋の点検・調査

村越 潤（土木研究所 構造物メンテナンス研究センター）

4. 鋼橋のモニタリング技術

長山 智則（東京大学）

5. 鋼橋の補修補強事例

小藤 輝正（横河工事）

6. これからの維持管理

高木 千太郎

（東京都道路整備保全公社、首都高速道路技術センター）